

道政報告

第3回・第4回定例会本会議一般質問

道政推進につながる鋭い追及に
即戦力としてメディアも大注目!

おおこしあつこは第3回定例会(9月16日)、第4回定例会(12月1

日)において一般質問に立ちました。「中東への食品輸出」「手話条例

制定」については新聞にも取り上げられ、大きな反響を呼びました。

〈第3回定例会一般質問項目〉

1. 「まんが・アニメ王国

ほっかいどう」の発信について

大越議員 知事はまんが・アニメ文化

の振興を公約に掲げており、漫画家を本業としていた私にとっても、実現に大いに期待を寄せている。どのように取り組んでいくのか。

高橋知事 まんがやアニメは国のクル

ルジャパン戦略にも位置付けられており、貴重な文化資源である。産業の育成や観光客の誘致につながるよう効果的な情報発信をしていく。

2. 子どものネット利用について

大越議員 子どもがインターネットを

利用することが多くなり、性犯罪や高



死問題をどう解決していくのか。
保健福祉部長 新聞販売店などの民間事業者との連携による地域ネットワークの構築などを支援し、安心して暮らすことのできる地域社会づくりを進めていく。

5. 道の知的財産戦略について

6. モンゴルへの技術支援について

7. 中東への食品輸出拡大について

大越議員 アラブ首長国連邦の拠点

都市ドバイは、中東における経済の中心地として急速な発展を遂げた。食品を輸出する際は、イスラム教の戒律に従っていることを示す「ハラール」への対応が求められるが、輸出拡大にどう取り組んでいくのか。

高橋知事 現地情報の共有、ビジネス

交流会を開催しているほか、ハラール認証を取得した道産牛肉のテスト輸出に取り組んでいる。その結果を踏まえ、販路拡大に取り組んでいきたい。

新聞にも掲載
されました!!



(北海道新聞9月17日付)

〈第4回定例会一般質問項目〉

1. 6次産業化の推進について

2. 子どもの貧困対策について

大越議員 貧困状態で十分に食事が

とれない子どもに対し、民間団体が手づくりの食事を提供する「子ども食堂」の取り組みが全国的に広まっている。心身を成長させる居場所の役割も果たしており、自主的な取り組みに対する支援が必要と考えるが、所見を伺う。

少子高齢化対策監 現在策定中の

子どもの貧困対策推進計画に庁内横断的な組織の設置を盛り込み、実効性のある取り組みを図っていく。

3. 高齢者住宅について

大越議員 厚生労働省の調査による

と、サービス付き高齢者向け住宅の平均利用料金は月額約14万円で、所得の低い高齢者の入居は難しい。特別養護老人ホームは2万6000人も待ち状態がいる状態で、なかなか入所できない。低所得の高齢者の住まいの確保にどう対応していくのか。

高橋知事 高齢者住宅の整備を着実

に進め、所得や介護度による多様なニーズに対応した幅広いサービスが受けられるよう、住宅施策と福祉施策を一体として推進し、高齢者が安心して暮らし続けられる北海道づくりに努めていく。

4. 国民健康保険制度について

5. 聴覚障がい者への支援について

大越議員 障害者基本法の改正や障害

者権利条約の批准を踏まえ、各地で「手話言語条例」が制定されている。知事は公約で同条例を制定するとしているが、今後どのように検討を進めていくのか。

高橋知事 他地域や関係団体から情

報収集しながら、条例に盛り込むべき事項の検討を進めてきた。1月に有識者による検討会議を設置し、障がいのある方もない方も互いに理解しながら暮らす社会実現のため、整備に取り組んでいく。

6. 性感染症の防止対策と

性教育について

7. 教職員定数について

その他の委員会質問

【総務委員会】

○暴力団対策について(9月7日)

【少子・高齢社会対策特別委員会】

○高齢世帯の状況について

(8月5日)

○北海道子どもの貧困対策推進計画(素案)について(10月1日)



一人暮らしの高齢者の見守りについて質問(8月5日)



経済的に厳しい家庭への支援を訴える(10月1日)

団体政策懇談会に出席

道議会自民党・道民会議は、各種友好団体の要望や提言を聞くために毎年開催している「団体政策懇談会」を10月5日から5日間、道議会内で開催しました。経済、1次産業、医療・福祉など45団体が出席し、おおこしあつこも政策審議委員の1人としてヒアリングに参加しました。

